

ロシア為替週報

2023年6月26日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去1週間の動き〉 (6月17日～6月23日)

USD/RUB: 83.4300～84.9500

先週1週間のロシア・ルーブルは続落。ワグネルによる武装蜂起のニュースはそのタイミングからして少なくとも先週末時点のルーブル相場には影響していなかったと見られる。しかし、今回、衝撃的な形で表出した、ロシア内部の亀裂が、昨年12月以降継続するルーブルの下落傾向に影響していたのではないかと感じられる。

欧州連合(EU)は6月23日、ロシアのウクライナ侵攻を巡り、ロシアの制裁逃れに関与する第三国との貿易制限などを含む追加制裁措置を発表した。また、新たに制裁対象とする33事業体を追加。この中にはロシアに軍事転用可能な製品を販売したとして、中国企業3社も含まれている。EUの対口追加制裁は昨年2月のウクライナ侵攻開始以降、これが11回目。また、中国企業が制裁対象に含まれるのは初めて。EUは、半導体やドローンなど先端技術製品が域内からロシアに渡り、軍事転用されることを警戒。ロシアへの輸出を禁じて、中国など第三国を迂回して流れる問題が指摘されていた。

6月23日金曜日から週末にかけては民間軍事会社ワグネルによる武装蜂起という衝撃的なニュースが流れた。6月23日には創設者であるプリゴジン氏が「ウクライナとNATOはロシアを攻撃しようとしていなかった」「ロシア国防相がプーチン大統領をだました」と持論を展開する動画をSNSに投稿、その後、ロシア連邦保安局がプリゴジン氏に対し「武装蜂起」を企てた疑いで捜査を開始したと国営タス通信が報じている。しかし、事態はその後、急転直下し、24日にはモスクワの近郊までワグネルの部隊が進軍したが、その日中にワグネルの隊列はモスクワ方面から引き返し、プリゴジン氏はベラルーシへと亡命した。

〈過去1週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/22	14:00	外貨準備高	6/16		\$587.5b	\$585.7b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉 (6月24日～6月30日)

USD/RUB: 81.00～87.00

来週1週間のルーブル相場は、まずは、不明な部分の多いワグネルの武装蜂起がウクライナ情勢やロシアの政治動向にどう影響を与えるのかを見極める必要があるだろう。1日で事態は収束したものの、最前線で戦闘を行っていたワグネルを失い、内部での亀裂が露呈した今、ロシアがウクライナへの侵攻を継続できるのかを疑問視する見方も目立つ。

中長期的なルーブル安方向への展開が続くという見方に変わりはない。(1)経常収支や財政収支など通貨ファンダメンタルズの悪化が鮮明となっていることが最大の理由である。G7などが経済制裁として科しているロシア産原油の輸入価格の上限設定措置を考慮すれば、ロシア産原油が国際的な指標であるブレントと比較して割安な水準で取引されることは避けられず、原油収入のアップサイドも限定的となろう。(2)また、海外への資金流出も継続する公算が大きい。もちろん、海外の投資家や企業がロシア国内から資金を海外に持ち出すことは厳しく制限されている。むしろ注目を集めているのは、ロシアの個人や企業が友好国に自らの資産を移そうとする動きや、ロシアの輸出企業が稼いだ外貨を国内に還流させずに国外に滞留させる動きである(外貨売り/自国通貨買いのフロー減少につながる)。

アップサイドリスクとしては、ロシア中銀の追加利上げの可能性が挙げられるものの、金利収入を目的とする海外からの資金流入が見込めない以上、ルーブル安圧力を食い止めるには力不足であろう。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

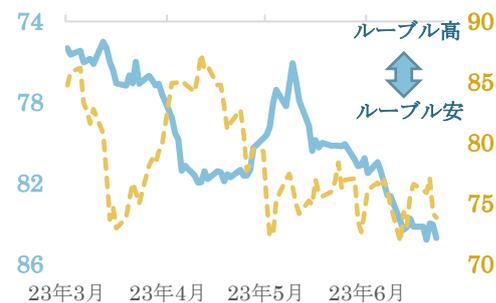
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/28	17:00	小売売上高(前年比)	5月	7.5%		7.4%
	17:00	失業率	5月	3.3%		3.3%
6/29	14:00	外貨準備高	6/23			\$587.5b
6/30	14:00	経常収支(100万ドル)	Q1			15800m

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

ロシア・ルーブルの推移

ルーブル対ドルレート(左軸、逆目盛)

ブレント先物価格(右軸)



原油価格の推移

実線:ウラル産原油価格

点線:ブレント先物価格(右軸)

(1バレルあたりドル)



(資料: ロシア統計局/ロシア中央銀行/ブルームバーグ)

〈文責〉

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

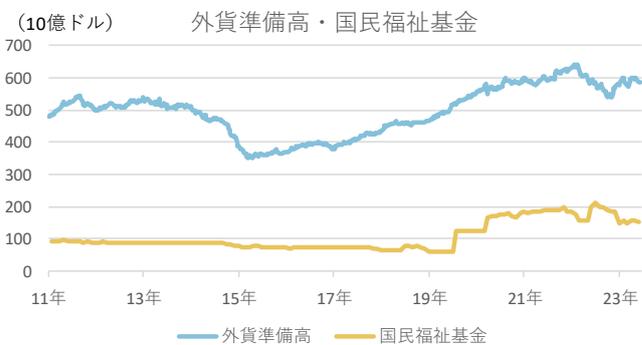
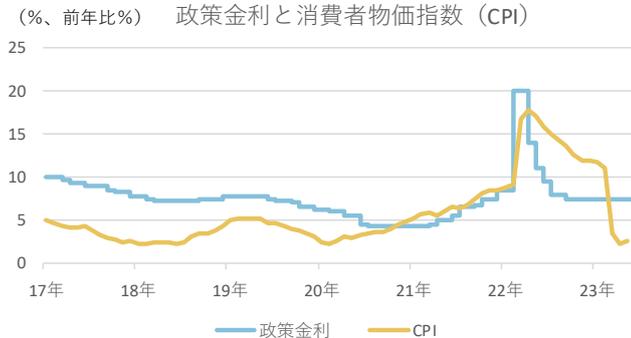
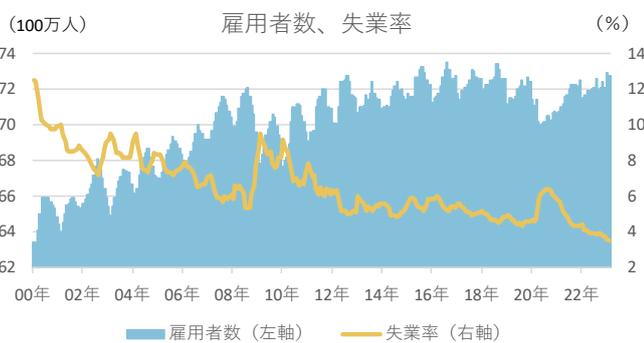
中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

ロシア為替週報

2023年6月26日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



(資料 ロシア中央銀行/ロシア統計局/ロシア財務省/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。